

平成 26 年 6 月 26 日

「公金収納データ統合処理業務」（トータル収納サービス）の受託について

足利銀行（頭取 松下 正直）は、地方公共団体の公金収納事務の効率化を支援するため、「公金収納データ統合処理業務」（トータル収納サービス）のシステム開発を受託することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、栃木県内では初めてのサービスであり、当行においても初めての受託となります。また、地方公共団体の地域活性化や業務効率化に向けた取組みを積極的に支援していくことを目的に、昨年 12 月に創設した『あしぎん地域サポートプログラム』の一環として提供するものであります。

当行では、今後も引き続き、指定金融機関として地方公共団体の事務効率化支援に積極的に取り組んでまいります。

記

1. システムを提供する地方公共団体

宇都宮市

2. システムの概要

(1) 地方公共団体の多様化する税金等の収納チャネル(※)から取込まれる収納データを統合し、地方公共団体の希望するデータ形式で提供するシステムです。

(※)従来の窓口収納・預金口座振替の収納チャネルに加え、コンビニ収納・ペイジー収納・クレジット収納の新しい収納チャネルに対応します。

(2) なお、宇都宮市に提供するシステムの対応範囲は、窓口収納、預金口座振替、コンビニ収納、平成 27 年 1 月より取扱いを開始するペイジー収納の収納データ統合を予定しております。

(3) 地方公共団体では本システム運用により、異なる収納チャネルごとの消込みが不要となり、消込み作業用の統合されたデータを伝送にて受領することが可能であることから、大幅な事務負担削減が可能となります。

3. 連携企業

ちばぎんコンピューターサービス株式会社（ペイジー収納サービス共同利用センター）

4. 今後の展開

宇都宮市の「公金収納データ統合処理業務」（トータル収納サービス）開始時期（平成 27 年 1 月）にあわせて、同システムの運用業務について開始する予定です。

以上